

○国道38号 幣舞橋（釧路市）



（施設概要）

- 幣舞橋は釧路川に架かる国道38号の橋梁で、橋長124m、昭和51年に5代目として完成し、架橋50年となります。
- 幣舞橋は札幌の豊平橋（とよひらばし）、旭川の旭橋（あさひばし）に並び「北海道三大名橋」と称されており、また、釧路港の夕日を「四季の彫刻」シルエットとともに眺める光景が絶景で、フィリピンのマニラ湾、インドネシアのバリ島と並び「世界三大夕日」と称され、国内外問わず観光名所として不動の人気を誇っております。

（見学箇所）

- 橋梁全景（幣舞橋の説明・写真撮影）

（見学時間）

- 30分

（見学可能人数）

- 最大20人

（施設までのアクセス）

- 道東自動車道釧路西ICから車で25分



○国道38号 幣舞橋（釧路市）

【駐車場・その他施設】

- ・ 駐車場:大型バス駐車不可
※条件付きで釧路開発建設部に駐車可能
（見学箇所まで約1.1km）
- ・ トイレ:あり(釧路河畔駐車場付近、複合商業施設内)

【オススメポイント(周辺の観光スポットなど)】

- ・ 幣舞橋ロータリーから出世坂を登ったところに幣舞公園があります。
- ・ 公園内には、松浦武四郎蝦夷地探検像や原田康子「挽歌」などの釧路ゆかりの記念碑もあります。
- ・ 釧路市立博物館には、第2次世界大戦中に破壊され、川底に眠っていた4代目幣舞橋の親柱が展示されています。

【注意事項】

- ・ 見学箇所は、一般の人も通行する箇所となりますので、通路の確保にご協力願います。

【位置図】

